

提出日：2024年7月18日

報告者：木瀬

SDGs 委員会 6 月活動報告書

活動名

2024年6月 ダストの意識改革①

活動の経緯と目的

SDGs『目標7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに』、『目標17 パートナリーシップで目標を達成しよう』への取組みとして、「どこにでも出荷できる神鋼商事品質」を目指し、活動を行いました。特にコンプライアンスの強化を目的とし、産業廃棄物、ダスト（※）の適正処理に関わる勉強会を実施し、業務を行いました。

（※ダスト…金属スクラップの中に混ざっている木くずやプラスチック類などの異質物の総称。

当社は金属くずに付随している廃プラスチック、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、木くずの産業廃棄物処分業の許可を受けております。）

参加者

全員

活動内容

- ①勉強会の実施（産業廃棄物、ダストの適正処分ならびにコンプライアンスについて）
- ②工場部門における荷受け方法の徹底

活動の成果

- ①当社が行政の許可を取得している産業廃棄物の種類・内容と、それぞれの適正な処分方法についての勉強会を行い、金属スクラップを取り扱う企業としての社会的責任を再確認しました。
- ②荷受け時には、担当者によって検収の変わることがないように、チーム内の連携と確認を再度徹底致しました。特に天井クレーンで下ろす際に見えるダストの量と、地上で荷下ろしする際に見えるダストの量に差がある場合にはしっかり情報共有を行い、最短時間で正確な量を出すよう努めました。また情報はすぐに総務部門（窓口担当者）にも共有し、正しい伝票をすぐに発行することでESの向上にも努めました。

感想と今後について

2030年のSDGsの目標達成に向け、産業廃棄物の適正処理について従業員全員が高い意識を持つことが大切だと感じました。当社のSDGs活動が、お客様のご協力のもとパートナーシップにつながり、地球環境の保全、向上の一助となるよう今後も継続して取り組んで参ります。